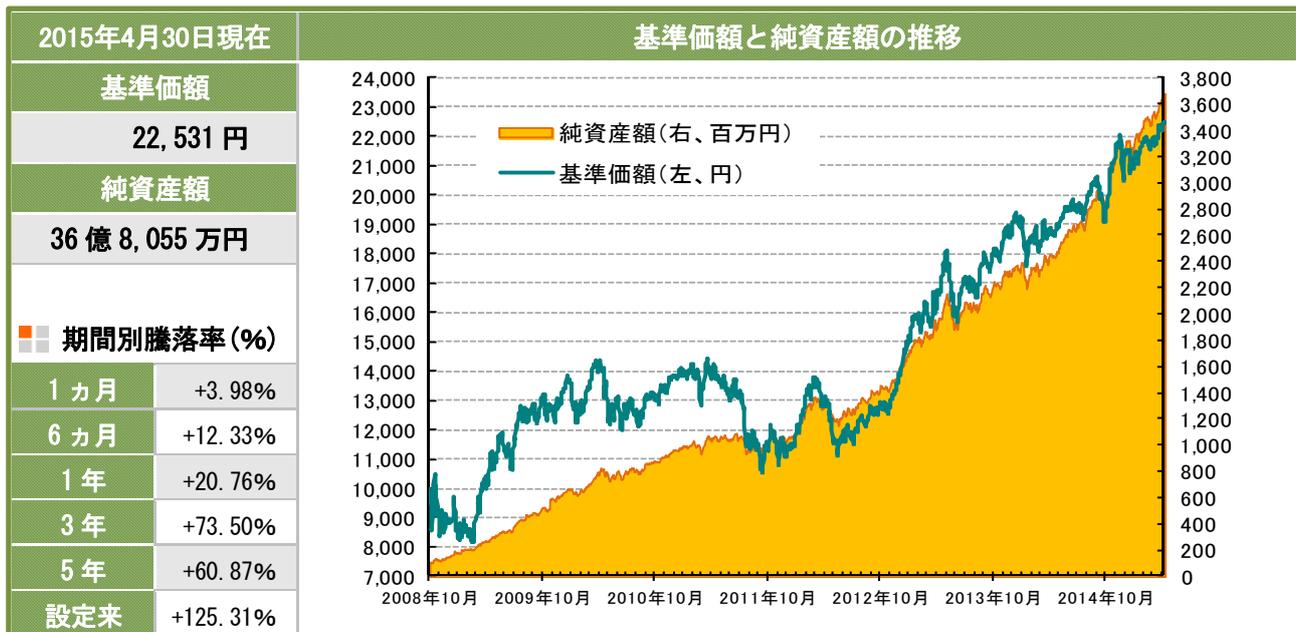




「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2015年5月14日作成)をお届けします。

運用状況のご報告

ユニオンファンド概況



* 複利年率 +13.25%

*「複利年率」とは設定から現在まで運用を行った結果、複利で換算した場合に何%でまわっていたかを表したものです。過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また個々の受益者ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

組入れファンドの内訳 (組入比率は4/30付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標投資比率	目標比
さわかみF	日本	10.0%	10%	±0.0%
キャピタルF	欧米	13.1%	18%	-4.9%
ハリスF	欧米	14.8%	23%	-8.2%
コムジエスF	新興国	32.4%	49%	-16.6%
キャッシュ	—	29.7%	—	—

小数点第2位を四捨五入

ファンドマネージャー コメント

ユニオンファンド「目標投資比率」と「運用状況」「運用方針」

ユニオンファンドでは「目標投資比率」設定にあたり、世界最大のシンクタンクであるIMFの「5年先名目GDP予測値」を有効な拠り所としています。

そのIMF予測値の「改定」(年2回)が2015年4月に行われましたが、主要基準としている5年先の「新興国名目GDP比率」は前回概ね横ばいでした。

このため、ユニオンファンドの「目標投資比率」は今回変更せず、これまで通りいたします。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

世界の「名目 GDP」と「株式時価総額」

世界の「株式時価総額」(株価)は世界の「名目 GDP」と概ね連動 (図 1)

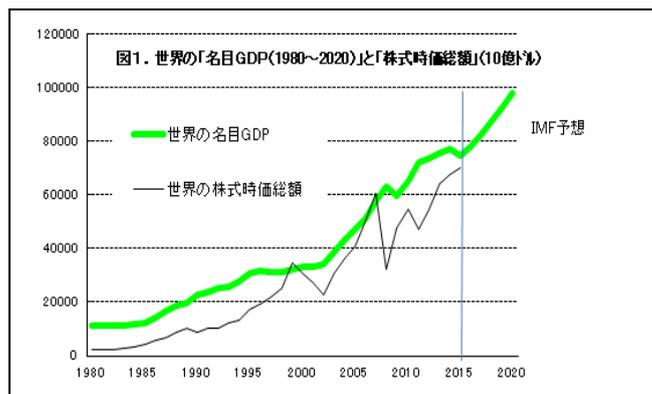
[世界の「株式時価総額」(株価)]

- 株価の変動幅は大きいものの、
- 長期ではこれまで「名目 GDP」に概ね連動して上昇中

[世界の「名目 GDP」]

- 5 年先も上昇基調が続く見込み(…IMF 予想)

このため、「株式時価総額」(株価)も連動して上昇基調と見込まれます。



地域別「名目 GDP」シェアと「株式時価総額」シェア

ユニオンファンドでは世界を3地域に区分して投資比率を定めています。

各地域の「名目 GDP」シェアと「株式時価総額」(株価)シェアの関係は次の通りです(図 2)。

[日本]

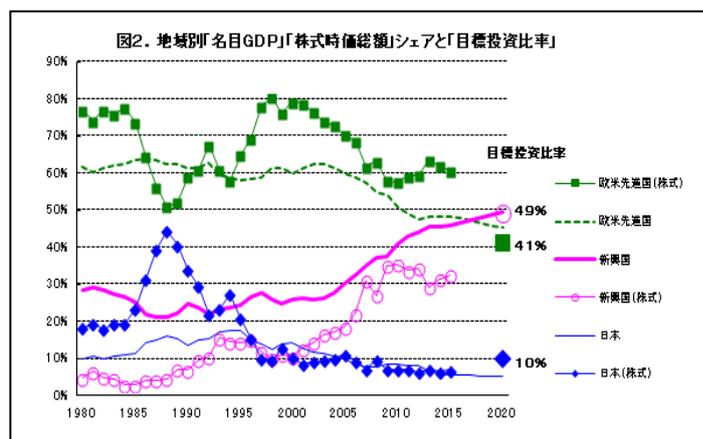
- 不動産バブル期に異常な株高(名目 GDP の 3 倍)
- バブル崩壊以降は名目 GDP に沿った株価の動きに

[欧米先進国]

- 名目 GDP に一定のプレミアムが乗った株価推移 (日本の不動産バブル期は例外)
- 最近では名目 GDP からの株価上方乖離が軟化

[新興国]

- 名目 GDP に対し一定のディスカウントで株価が推移
- 2003 年以降、新興国台頭が始まり株価が大きく上昇
- 最近では名目 GDP からの株価下方乖離が修正



ユニオンファンドの「目標投資比率世界」

ユニオンファンドでは、個人家計の長期にわたる「資産形成」を支援するため、「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資しています。

そして、“高成長が続く国・企業の株式は高いパフォーマンスを上げることが多い”と考え、新興国の株式を多めに投資しています。

新興国の「目標投資比率」については、新興国の「株式時価総額」が「名目 GDP」に追従して今後も上昇していくと考え、「5 年先名目 GDP」シェアと同率としています(5 年後を先取り)。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

一方欧米先進国は、成熟した低成長市場であることから「目標投資比率」を割り引いています。

また日本は、低成長市場ですが身近な精通した市場であるため「株式時価総額シェア」よりもやや高めにしてあります。

以上の考えから、ユニオンファンドの「目標投資比率」を次のように設定しています。

- 現在(2015年)の名目 GDP シェア : 日本 6%、欧米 48%、新興国 46%
- 5年先(2020年)の名目 GDP シェア : 日本 5.0%、欧米 45.3%、新興国 49.7% (・・・IMF 予想)
- ☆「目標投資比率」 : 日本 10%、欧米 41%、新興国 49%
- ◆現在(2015年4月)の株式時価総額シェア : 日本 7%、欧米 59%、新興国 34%
- ◆「目標投資比率」の時価比「乖離」 : 日本+3%、欧米▲18%、新興国+15%

投資ファンドの「組入状況」と「投資方針」

ユニオンファンドは現在下記4つの株式ファンドに投資しています。

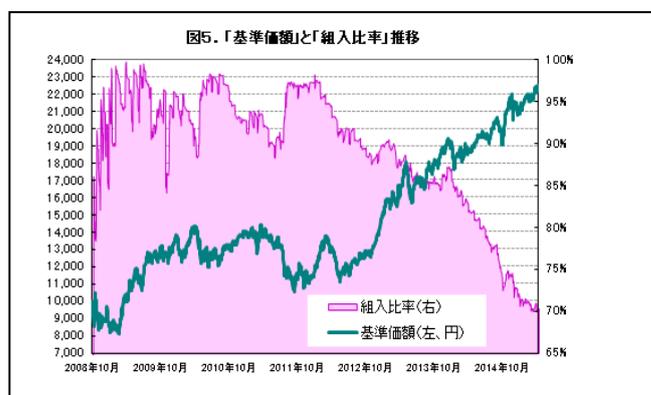
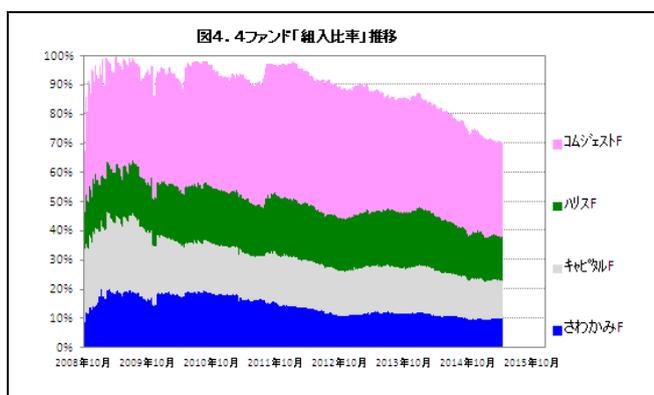
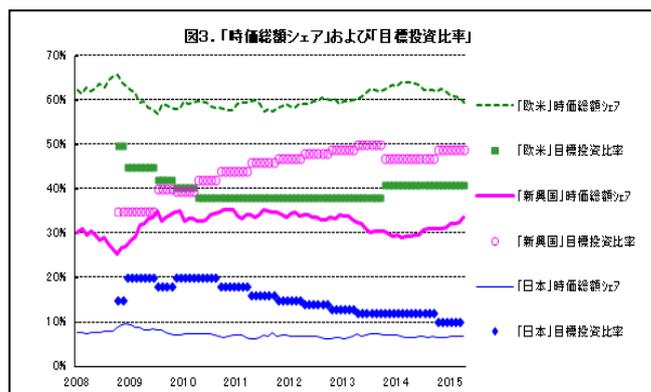
地域	投資ファンド名(略称)	目標投資比率
新興国	コムジエストF	49%
欧米先進国	ハリスF	23%
欧米先進国	キャピタルF	18%
日本	さわかみF	10%

ユニオンファンド設定以来の「目標投資比率」の推移は図3の通りです。

4つのファンドの実際の「組入比率」推移は図4の通りです。

- ・図4のうち、100%に満たない部分が「現金部分」です。
- ・「現金」を除いた「実際に投資している部分」については、「目標投資比率」を概ね維持しています。

「基準価額」と「組入比率」の推移は図5の通りです。



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ユニオンファンドは、割高時には「現金比率」を高め、割安時での買い増しに備えています。

そして現在の株式市場は割高であると考え、「現金比率」を現在高めにしています。

このため「基準価額」は、「現金比率」が常にゼロであった場合の理論値(=「フル運用の基準価額」)に比べ「3,000 円強」劣後している計算になります(図6)。

しかし、下落局面では逆に「フル運用の基準価額」の値下がり率が大きくなることから、「挽回が可能」と考えています。

(毎月積立の長期投資家にとっては、『現在の「3,000 円強」の劣後はその分安く購入出来ている』とも言えます)

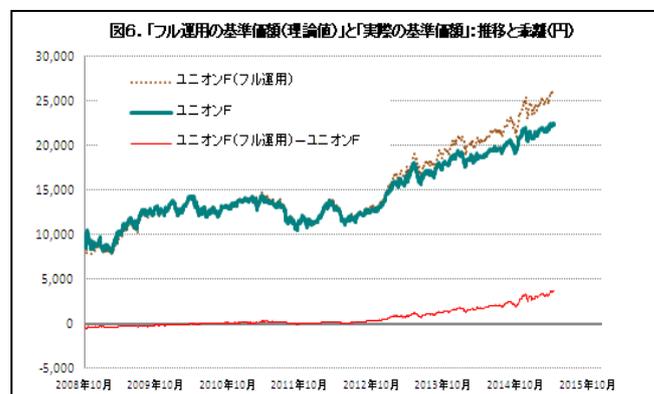


図 1～6 の出所:IMF、国際取引所連合、ユニオン投信株

ユニオンファンドは設定以来、下記の投資方針で臨んできました。

- ・基準価額低迷の時(=概ね割安な状況の時)は「フル運用(95%程度)」・・・例えばリーマン・ショック後の数年間
- ・基準価額好調の時(=概ね割高な状況の時)は「追加組入は概ね見送り」・・・例えば現在

ユニオンファンドは 20 年、30 年という長期にわたる個人家計の「資産形成」を支援していくことを目的としています。

長期にわたる運用の中では「景気変動」「株価変動」は避けられません。従って、株価は上がり続けることはなく、また下落し続けることもありません。

長期の株式投資において避けるべきことは、

- ・「割高」な状況にあっても「更なる値上がり」を狙ってフル運用を続け、
- ・逆に「割安」な状況なのに「更なる値下がり」を恐れて現金を増やす

ことです。

これは、株式市場即ち「インデックスとの競争」を強く意識する場合に陥り易い傾向といわれています。

ユニオンファンドは、

インデックスと競争するという意識は特に持たず、株価「好調時には慎重」に、株価「低迷時には目一杯強気」に

という「投資方針」を続けて参りたいと考えています。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 運用報告

■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する
ファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています(ファンド・オブ・ファンズ)。

■ ユニオンファンドはグローバルな成長を平均的・安定的に享受するため、世界の株式時価総額シェアを基準に地域別「目標投資比率」を決め、それに基づいて投資しています。現状では、世界の株式時価総額シェアに比べ、「日本」と「新興国」のウェイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。

「日本」：低成長市場だが身近な精通した市場

「新興国」：伸び盛りの高成長市場

「欧米」：成熟した低成長市場

■ 4月の株式市場は、初旬上昇のあと中旬で一服しましたが、下旬にかけ再度上昇しました。

しかしこのところ、国・地域間で爬行色が強まってきています。

- ・米市場：「ドル高」「原油安」などの影響から米国多国籍企業の「業績鈍化」が鮮明。株価は2月以降概ね横ばい
- ・欧州市場：4月初旬まで順調に上昇。中旬以降「ギリシャ問題」「ユーロ巻き戻し」などから調整局面に
- ・中国市場：本格的金融緩和期待から2月以降「爆騰」
- ・東京市場：年金資金や外国人買いなどでジリ高継続

■ 4月の基準価額推移…中旬に一服したあと上昇を続け、月末には設定来高値の22,531円(前月末比+4.0%)となりました。

■ 4月も新規組入れ(買い増し)を見送りました。追加設定分が基準価額上昇で概ね相殺され、月末の組入比率は前月末比「0.3%」増加の「70.3%」となりました。

■ 今後の運用方針

● 今後の市況見通し

・市場は引き続き下記リスクを内在しています。

米 国：「金利引き上げ」「ドル高」による企業業績悪化、シェール開発企業破綻

欧 州：南欧債務問題(ギリシャのユーロ離脱問題の行方)、景気減速

日 本：アベノミクス成長戦略の行方、財政再建の行方、円高への回帰

中 国：不動産バブル崩壊懸念、地方政府債務問題の顕在化(影の銀行問題)、株価暴騰の反動

ロシア：原油安・経済制裁による景気失速・デフォルト

その他産油国：原油安による景気悪化・財政悪化・デフォルト

紛 争：「イスラム国」など地政学的リスク拡大による世界景気悪化

・世界的な過剰流動性・金融当局の買い支えなどにより、債券は「危険資産」、株式は「割高状態」にあると考えています。世界の金融当局も徐々に警戒感を表明してきています。市場は上記リスクに敏感な動きとなっており、株価が大きく振れやすい神経質な展開を引き続き予想しています。

● 目標組入比率

・現在の目標組入比率「65~100%」(=キャッシュ比率「0~35%」)を維持します。

・株価が大幅に下落する局面では買い増しを行い、実際の組入比率を引き上げる方針です。

● 地域別目標投資比率

現在の「地域別目標投資比率」を維持します。…日本：10%、欧米：41%、新興国：49%。

● ファンド選定

当面、現在の4つのファンドに投資していきます。

● ファンド別目標投資比率

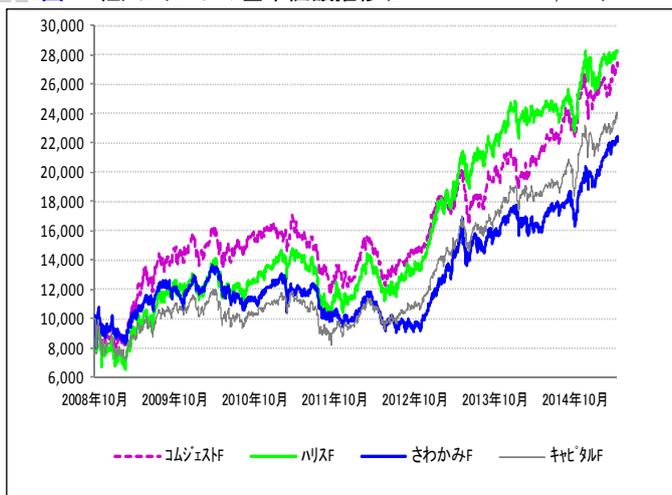
現在の「ファンド別目標投資比率」を維持します。…「さわかみF」：10%、「キャピタルF」：18%、「ハリスF」：23%、「コムジェストF」：49%

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008. 10. 20=10,000)



≫ 図1 基準価額推移

4 ファンドとも上昇しましたが、中国市場「爆騰」などから「コムジェストF」が急騰。
4月1ヵ月間の騰落率は次の通り。
…「ハリスF: +3.4%」、「コムジェストF: +8.8%」
「キャピタルF: +3.2%」、「さわかみF: +3.8%」

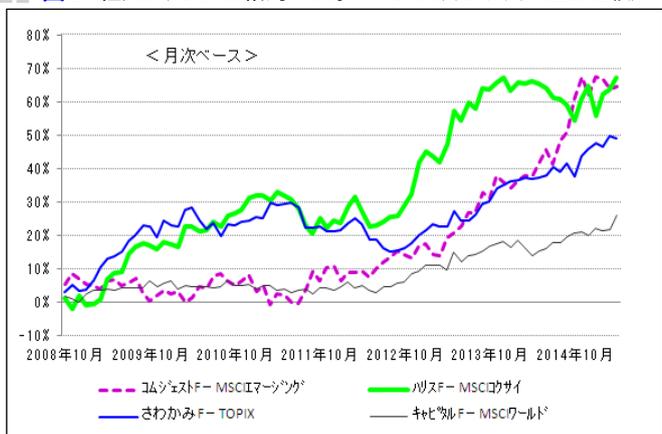
≫ 図2 相対パフォーマンス

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。
「ハリスF」……設定来 約67%凌駕
「コムジェストF」…同 約64%凌駕
「さわかみF」……同 約49%凌駕
「キャピタルF」…同 約26%凌駕

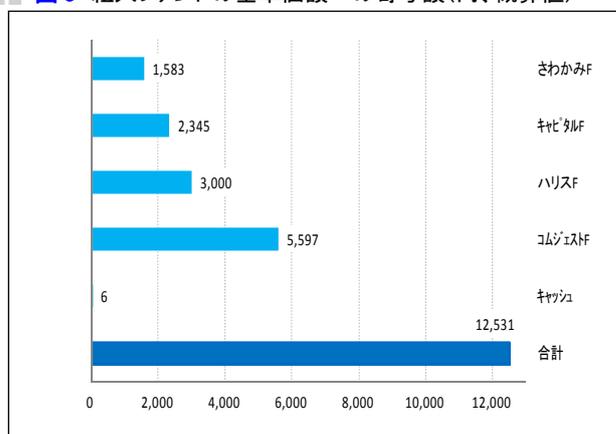
≫ 図3 寄与額

4月末の基準価額が22,531円となっていることから、12,531円の評価益に。月末時点の寄与額内訳は第3図の通り。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」

≫ 図4 時価総額シェア・目標投資比率

「時価総額シェア」…

新興国: 最近やや上昇し、33%程度

欧米: 最近やや低下し、60%程度

日本: 7%程度の横ばい

「地域別目標投資比率」…

日本: 10% (シェア比+3%)

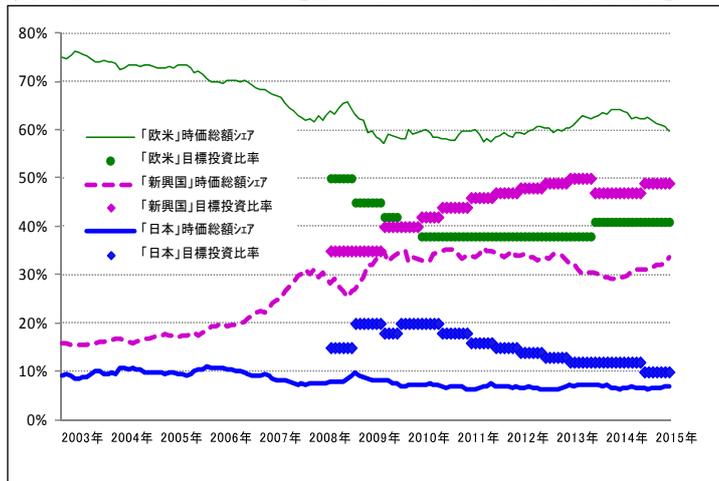
欧米: 41% (シェア比▲18%)

新興国: 49% (シェア比+15%)



運用部長 (ファンドマネージャー)

坂爪 久男



(出所) 「時価総額シェア」: ユニオン投信株式会社調べ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

組入れ4ファンドの状況

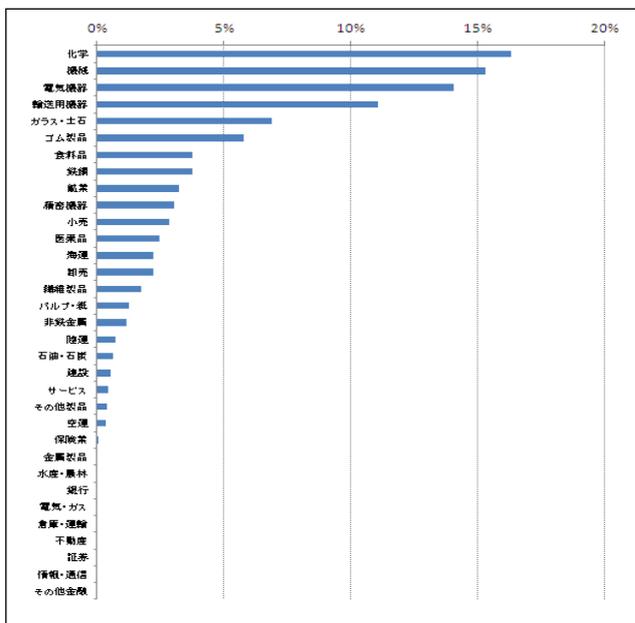
さわかみF（さわかみファンド）

株式組入上位10銘柄等

2015年4月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	トヨタ自動車	5.3%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
2	ブリヂストン	5.3%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3	花王	3.0%	日本	化学	トイレット-首位
4	国際石油開発帝石	2.9%	日本	鉱業	石油メジャー
5	日本電産	2.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
6	三菱重工	2.6%	日本	機械	世界的総合重機メーカー
7	ダイキン	2.5%	日本	機械	エアコン世界首位
8	浜松ホトニクス	2.4%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
9	デンソー	2.4%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
10	日本特殊陶業	2.4%	日本	ガラス・土石	プラグ・センサー世界首位
上位10銘柄		31.7%			
その他98銘柄		60.1%			
キャッシュ		8.2%			

業種別構成比



業種：東証33業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

◆業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。

◆ポートフォリオの特徴は、

(1) 「化学」「機械」「電気機器」「輸送用機器」「ガラス・土石」「ゴム」「鉄鋼」など“ものづくり”、“輸出型”企業の比率大。

(2) “内需型”企業では「金融」「通信」「不動産」「倉庫」「公益」などの比率を抑え、「食料品」「小売」「医薬品」など“生活関連”にシフト。

◆4月は約30銘柄を売却。徐々に現金比率を高めている。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX) クラスA)

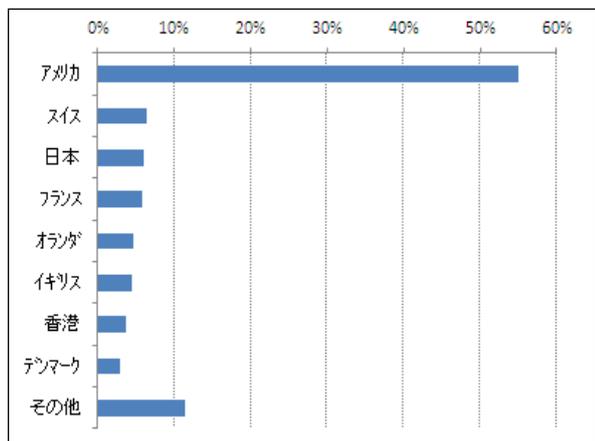
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2015 年 3 月末現在

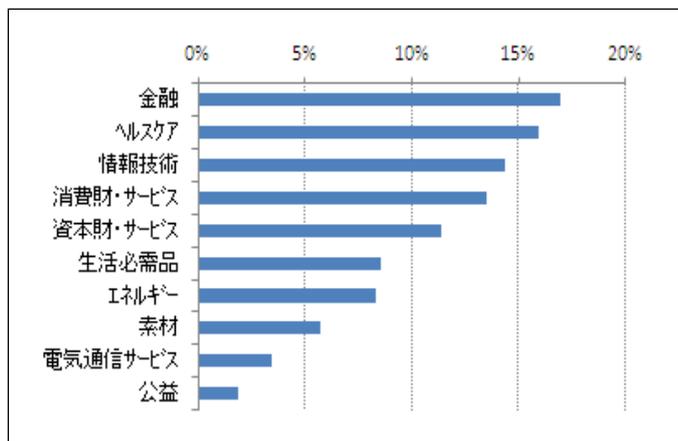
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Goldman Sachs	2.8%	アメリカ	金融	世界最大の投資銀行
2	Novo Nordisk	2.7%	デンマーク	ヘルスケア	医薬品バイオ
3	Incyte	2.1%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
4	Pernod Ricard	2.0%	フランス	生活必需品	洋酒大手
5	AIA	2.0%	香港	金融	生保・金融サービス
6	Gilead Sciences	1.8%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
7	Microsoft	1.7%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
8	Unilever	1.7%	オランダ	生活必需品	家庭用品大手
9	ASML	1.6%	オランダ	情報技術	半導体製造装置大手
10	Wells Fargo	1.5%	アメリカ	金融	アメリカ大手銀行
	上位 10 銘柄	19.9%			
	その他 151 銘柄	76.2%			
	キャッシュ	3.9%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 日本を含む先進国に幅広く投資 (150 銘柄程度)。
- ◆ インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆ 半年前に比べ、業績好調な「ヘルスケア」「消費財」「情報技術」が増加し、「エネルギー」「素材」などが減少。
- 割安との判断から「金融」が組入セクターのトップ。
- ◆ 組入上位 10 銘柄は「金融」「ヘルスケア (バイオ)」「生活必需品」「情報技術」の 4 業種。

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書 (交付目論見書) の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。

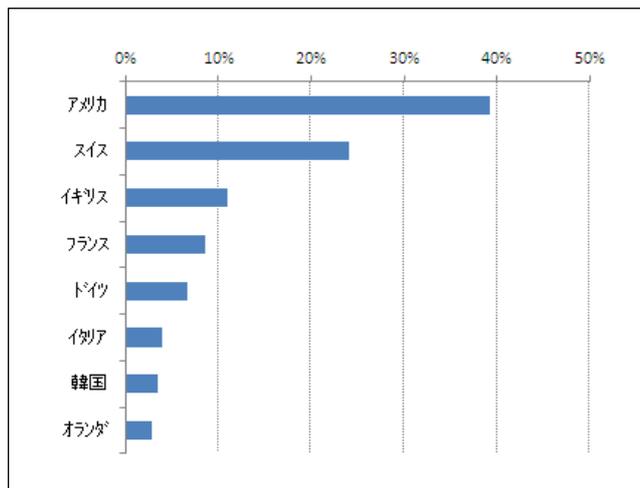
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2015 年 3 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	CREDIT SUISSE	4.9%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
2	BNP PARIBAS	4.4%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3	GENERAL MOTORS	4.3%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ 3 の一角
4	GLENCORE XSTRATA	4.3%	イギリス	素材	金属鉱物商社
5	JULIUS BAER	4.2%	スイス	各種金融	プライベートバンク
6	CNH INDUSTRIAL	3.9%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー
7	WELLS FARGO	3.8%	アメリカ	銀行	アメリカ大手銀行
8	ALLIANZ	3.7%	ドイツ	保険	総合保険大手
9	INTEL	3.7%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
10	FINANCIERE RICHEMON	3.6%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・コングロマリット
上位 10 銘柄		40.6%			
その他 27 銘柄		56.3%			
キャッシュ		3.1%			

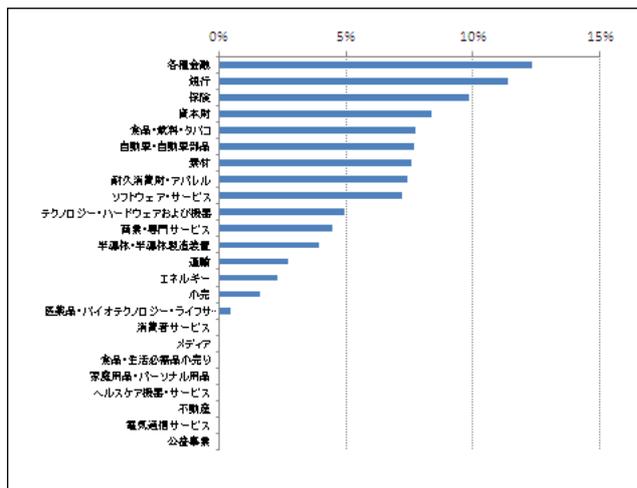
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2015 年 4 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本除きの世界各国に投資。
- ◆ 「金融」が最大の投資セクター(組入比率: 約 34%)。パフォーマンスへの貢献度は大。業績好調なカード会社や資産運用会社などの比率を高め銘柄選択効果を効かせている。
- ◆ 「金融」以外では、景気敏感セクターの「資本財」「自動車関連」「素材」「耐久財」「ソフトウェア」や安定セクターの「食品・飲料」などのウェイトを高めている。
- ◆ 「株価が目標圏に到達した銘柄の利食い・割安株の買い付け」を活発に行っているが、最近では割高となった「商業サービス」「メディア」「消費財サービス」「耐久消費財」などを引き下げ、割安な「素材」「テクノロジー」「資本財」「バイオ」「小売」などを引き上げ。

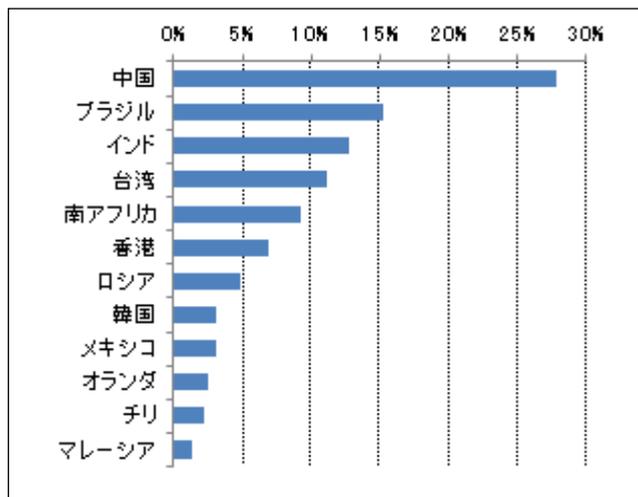
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2015 年 4 月末現在

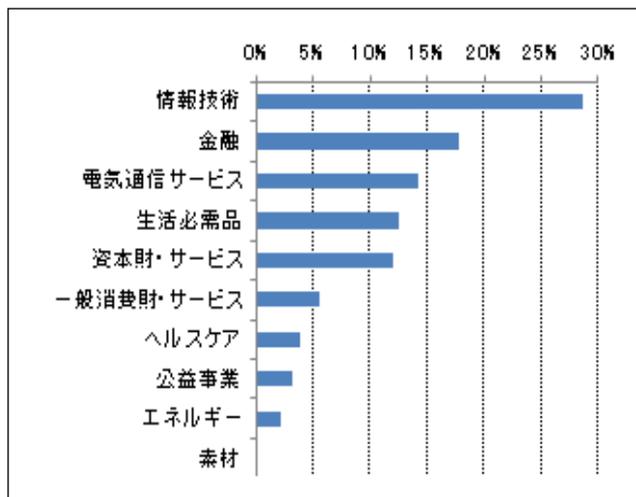
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	7.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	CHINA LIFE	7.2%	中国	金融	生保
3	CHINA MOBILE	6.0%	中国	電気通信サービス	携帯電話
4	MTN	4.4%	南ア	電気通信サービス	携帯電話
5	NETEASE	4.4%	中国	情報技術	オンラインゲーム
6	HUTCHISON WHAMPOA	4.2%	香港	資本財・サービス	コングロムリット(台湾・不動産等)
7	INFOSYS	3.8%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス
8	PING AN INSURANCE	3.7%	中国	金融	総合保険
9	MEDIATEK	3.4%	台湾	情報技術	半導体設計
10	SANLAM	3.2%	南ア	金融	資産運用
	上位 10 銘柄	47.7%			
	その他 25 銘柄	49.0%			
	キャッシュ	3.3%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 質の高い新興国企業 (新興国売上比率の高い先進国企業含む) を 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆ 類まれな事業基盤を有し長期的高成長が期待できる企業に選別投資。
 具体的選別基準は、①参入障壁が高く長期的収益見通しが立て易い企業、②健全で利益率が高い企業、③適切な株価水準にある企業 など。
- ◆ 新興国市場の主要セクターは「資源・エネルギー」や「金融関連」に大きく偏っているが (BRICs 諸国では概ね 5~6 割程度)、当ファンドは「情報技術」「生活必需品」「資本財」などに高ウェイト (資源・金融は 1~2 割程度)。
 このため新興国市場が市況高 (資源・原油高) で上昇する場合は追従できないことが多い。
 しかし市況の下落局面では銘柄選択効果を発揮し、長期的な相対パフォーマンスは良好。
- ◆ 最近では、「生活必需品」「エネルギー」などが減少し、「情報技術」「通信」「金融 (生保・その他金融)」「消費財サービス」などが増加。

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書 (交付目論見書) の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
 ◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

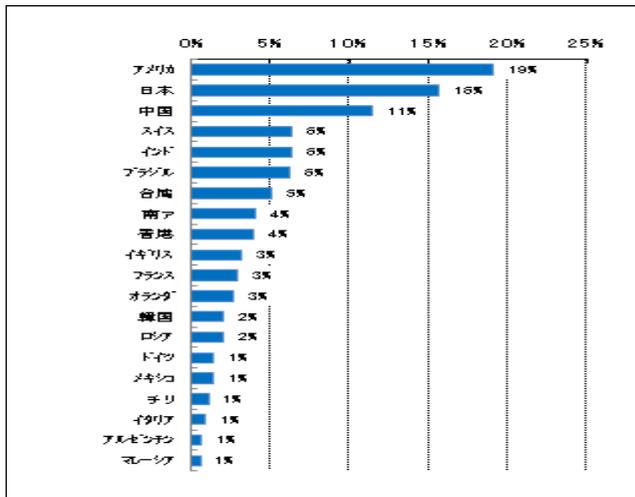
ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

■株式組入上位 30 銘柄等

2015年3月末現在

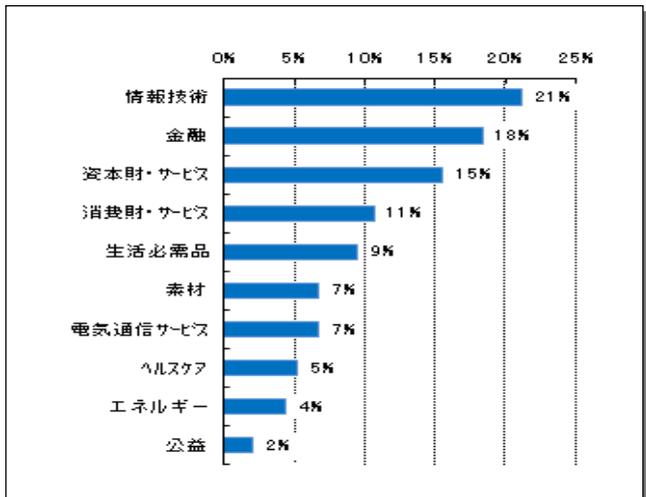
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	2.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジェストF
2	CHINA LIFE	2.1%	中国	金融	生保	コムジェストF
3	CHINA MOBILE	1.8%	中国	電気通信サービス	携帯電話	コムジェストF
4	INFOSYS	1.5%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス	コムジェストF
5	HUTCHISON WHAMPOA	1.3%	香港	資本財・サービス	コングロマリット(港湾・不動産等)	コムジェストF
6	MTN	1.2%	南ア	電気通信サービス	携帯電話	コムジェストF
7	NETEASE	1.2%	中国	情報技術	オンラインゲーム	コムジェストF
8	MEDIA TEK	1.2%	台湾	情報技術	半導体設計	コムジェストF
9	SANLAM	1.1%	南ア	金融	資産運用	コムジェストF
10	POWER GRID OF INDIA	1.1%	インド	公益	電力関連(送電網)	コムジェストF
11	WELLS FARGO	0.8%	アメリカ	銀行	アメリカ大手銀行	ハリスF
12	CREDIT SUISSE	0.7%	スイス	各種金融	スイス大手銀行	ハリスF
13	BNP PARIBAS	0.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行	ハリスF
14	GENERAL MOTORS	0.6%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角	ハリスF
15	GLENCORE XSTRATA	0.6%	イギリス	素材	金属鉱物商社	ハリスF
16	JULIUS BAER	0.6%	スイス	各種金融	プライベートバンク	ハリスF
17	CNH INDUSTRIAL	0.6%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー	ハリスF
18	ALLIANZ	0.6%	ドイツ	保険	総合保険大手	ハリスF
19	INTEL	0.6%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
20	トヨタ自動車	0.5%	日本	輸送用機器	自動車世界大手	さわかみF
21	FINANCIERE RICHEMON	0.5%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・コングロマリット	ハリスF
22	プリヂストン	0.5%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位	さわかみF
23	Goldman Sachs	0.4%	アメリカ	金融	世界最大の投資銀行	キャピタルF
24	Novo Nordisk	0.4%	デンマーク	ヘルスケア	医薬品パイオ	キャピタルF
25	花王	0.3%	日本	化学	トイレット紙首位	さわかみF
26	Incyte	0.3%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品パイオ	キャピタルF
27	Permod Ricard	0.3%	フランス	生活必需品	洋酒大手	キャピタルF
28	AIA	0.3%	香港	金融	生保・金融サービス	キャピタルF
29	日本電産	0.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位	さわかみF
30	国際石油開発帝石	0.3%	日本	鉱業	石油メジャー	さわかみF
	上位 30 銘柄	24.5%		(注)各組入F開示資料に基づくランキング		
	その他 312 銘柄	45.5%				
	キャッシュ	30.0%				

■国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

■業種別構成比



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> コメント

- ☆組入銘柄数：342、投資国数：22 カ国。
- ☆組入上位 30 銘柄明細：40 銘柄程度に絞り込んでいる「コムジェストF」「ハリスF」の組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比：アメリカが1位で19%、日本が2位で16%、3位以下は中国の11%など新興国が続く。
主要新興国では中国・インド・ブラジル・南ア・ロシア・メキシコの順。
- ☆業種別構成比：「情報技術」「金融」「資本財」「消費財」「生活必需品」の上位5業種で約8割を占める。
最近6ヵ月間の業種別動向：業績好調な「情報技術」「ヘルスケア」や割安な「金融」「素材」が増加し、「エネルギー」や割高となった「生活必需品」「消費財」が減少。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ユニオンファンドの「地域区分」の補足

ユニオン投信株式会社 取締役
清水 学



こんにちは。ユニオン投信の清水です。

今回の月次レポートの「ファンドマネージャー・コメント」では、『ユニオンファンドの地域別「目標投資比率」』について説明しております。

「ファンドマネージャー・コメント」と重複しますが、ユニオンファンドは世界の地域を「欧米先進国」「日本」「新興国」の3つに区分して投資しています。

本項では「ユニオンファンドの3つの地域区分」と、グローバル投資の世界で代表的な「*MSCI 指数の地域区分」を記載いたしました(下表参照、MSCI 指数の国数や地域区分は 2015 年 4 月末現在)。

なお、ユニオンファンドは下表記載の MSCI 各インデックス以外の国(=その他の国)も投資範囲としています。

MSCI INDEX		国 名			ユニオンファンド 地域区分
MSCI AC WORLD INDEX 46 カ国	MSCI *WORLD INDEX 23 カ国	カナダ アメリカ オーストリア ベルギー デンマーク フィンランド フランス	ドイツ アイルランド イスラエル イタリア オランダ ノルウェー ポルトガル	スペイン スウェーデン スイス イギリス	欧米先進国 18 カ国
	MSCI EMERGING MARKETS INDEX 23 カ国	日本	オーストラリア ニュージーランド シンガポール	日本	
MSCI FRONTIER MARKETS INDEX 24 カ国		ブラジル チリ コロンビア メキシコ ペルー チェコ共和国 エジプト カタール	ギリシャ ハンガリー ポーランド ロシア 南アフリカ トルコ 中国 UAE	インド インドネシア 韓国 マレーシア フィリピン 台湾 タイ	新興国 (上記の欧米、 日本以外)
その他の国		アルゼンチン ブルガリア クロアチア エストニア リトアニア カザフスタン ルーマニア セルビア スロベニア ウクライナ	ケニア モーリシャス モロコ ナイジェリア チュニジア バーレーン ヨルダン クウェート レバノン オマーン	バングラデシュ パキスタン スリランカ ベトナム	
		サウジアラビア ジャマイカ ボツワナ ガーナ	トリニダード・トバゴ ジンバブエ パレスチナ イラン	ボスニア・ヘルツェゴビナ キプロス マルタ バミューダ	

*「MSCI」指数・・・MSCI 社が開発・公表している世界の代表的な株価指数

※ちなみに「MSCI WORLD INDEX」対象国から「日本」を除いた指数が「MSCI KOKUSAI INDEX」・・・確定拠出年金商品でもよく登場する指数

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ユニオンファンドは「3つの地域(日本・欧米先進国・新興国)」に区分して「目標投資比率」を決めていることから、

Q1:新興国への投資比率が多過ぎるのでは？

Q2:世界的に活躍している企業が多いアメリカや日本への投資比率が低過ぎるのでは？

と、というようなご意見・ご質問を稀に頂戴することがあります。

Q1、Q2に対するユニオン投信(株)としての考え方(ご回答)は、本月次レポートの「ファンドマネージャー・コメント」通りであります。取り分けQ2についてはご質問(あるいはご意見)をいただくことがあるため、補足させていただきます。

ユニオンファンドは「3つの地域区分」の内、「欧米先進国」と「新興国」の2つは“大きな括り”にしています。具体的には、「欧米先進国」の国数は前ページの通り18カ国、「新興国」の国数は50カ国超となっています。(これは投資可能範囲国数であり、ユニオンファンドが実際に投資している国数は、直近で22カ国です。)一方、「日本」は“一国を1つの地域”としています。

つまり、投資配分を「地域区分」でみれば「新興国」比率が多いのは事実ですが、「国別」比率で見れば世界第1位の経済規模を持つ「アメリカ」が第1位、母国であり世界第3位の経済規模を持つ「日本」が第2位となっています。…したがって、「米国や日本への投資比率が低過ぎる」ということではなく、ユニオンファンドは『世界中の企業に投資している』とご理解願いたいと思います。

なお、「国別」の投資比率については、本月次レポートの「ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況(11/14 ページ)」を併せてご確認くださいと思います。

平成 27 年 5 月 8 日記

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

『ユニオンファンド』の手数料

－ 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続き・手数料等」をご覧ください。－

【申込手数料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換金手数料】 … ご換金(解約)にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

【信託報酬】 … 純資産総額に年0.864%(税抜き 年0.8%)の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[実質的な信託報酬※ 信託財産の純資産総額に対して年1.9%±0.3%(概算)]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

◆ 未成年のお客様の定期定額購入について ◆

未成年のお客様が定期定額購入をご利用いただく場合、毎月 3,000 円から始めることができます。お子様の教育費や将来の資産形成のために、毎月コツコツ積立投資を始められてはいかがでしょうか？口座開設資料のご請求は弊社ホームページまたは業務管理部（TEL:0263-38-0725）で承っております。

【定期定額購入サービス新規お申込み時】

- ◎ お申込みされるお客様が未成年である場合は **3,000 円以上 1,000 円単位** で購入できます。
- ◎ 自動引落しにご指定いただける金融機関は、ご本人様（お子様）名義の口座に限ります。

【引落し金額の変更について】

定期定額購入開始時に未成年であったお客様が、成人された後に金額変更をご希望される場合、変更後の金額は***10,000 円以上 1,000 円単位**でご指定いただきます。

※ 成人された後に引落し金額を変更されない限り、未成年時にお申込みいただいた購入金額での継続が可能です。

◆ 定期定額購入の引落しができなかった場合について ◆

引落先金融機関の口座が「残高不足」等で引落しができなかった場合、当月の定期定額購入は行ないませんが、翌月以降の引落しは通常通りのご指定金額で引落しを行ないます。なお、**引落しできなかった分を翌月まとめて引落しすることはできません。**

当月引落しできなかった分の購入をご希望される場合は、スポット購入*による方法にてご購入ください。また、定期定額購入と同じタイミングでの購入をご希望される場合は、当月の引落日より 6 営業日後の日にスポット購入代金をお客様専用の「ファンド購入用振込口座」へお振込みください。

引落日等、各月の詳しい情報は弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

※ スポット購入の振込手数料はお客様のご負担となります。

◆ ご住所の変更をされるお客様へ ◆

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、各種変更用紙をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される場合、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までお電話にて変更用紙をご請求いただくか、弊社ホームページの「各種変更手続き」ページ「登録情報変更用紙請求」フォームにて承っておりますので、ご連絡をお願いいたします。

用紙が届きましたら、**新住所が証明できるご本人確認書類を添付の上**、弊社までご提出ください。

【ご注意】

- ・変更のご連絡がない間の弊社におけるお取扱いは、すべて旧住所でのご案内となります。
- ・海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なりますので、**必ず出国される前に弊社業務管理部までお電話ください。**（出国後では行えない手続きもございます。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。